

(地 域 情 勢 報 告)

作成年月日	平成19年11月6日
作成部局	北播磨県民局

北はりま版「子育て応援の標語」入賞作品が決定

北播磨県民局では、北播磨地域の子育て応援の気運を一層高めていくため、家庭や地域での子育てを積極的に応援する「子育て応援の標語」を募集しました。小学生から80代の高齢者まで幅広い方々から461点の作品の応募があり、このたび入賞作品8点を決定しました。

優秀作品は、加西市で開催する「こころ豊かな美しい北播磨をめざす実践推進大会」(11月10日(土))において表彰し、今後は入賞作品を活用した子育て応援の普及啓発に広く利用することとしています。

記

1 入賞作品 8点(最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作5点)

(最優秀賞) 子育ては誰でも一度は悩むもの あわてず 急がず ゆっくりと
吉田 好美(加東市)

(優秀賞) さりげなく 声かけ見守り 地域の輪 西村 萬里子(西脇市)

(優秀賞) 行ってきます おかえりなさい 地域のふれあい 明るい未来
多方 信子(加東市)

(佳作) 逃げないで 向き合って ほめるもしかるも 親の愛
竹内 守男(加東市)

(佳作) 急がずあせらず その子らしさを育てよう 藤本 志津子(多可町)

(佳作) 見てるから あなたの頑張り 誰よりも 小谷 勇次(西脇市)

(佳作) 根気よく褒めて叱って身に付くマナー 上島 えみ子(加古川市)

(佳作) 子育てに使っておくれ 老いの知恵 生田 頼夫(西脇市)

2 応募作品数

461点

(地域別)西脇市(10%)、三木市(46%)、小野市(4%)、加西市(13%)
加東市(12%)、多可町(6%)、その他(9%)

(年齢別)10~20代(52%)、30~40代(9%)、50~60代(35%)、70~80代(4%)

3 募集期間

平成19年7月2日(月)~8月31日(金)

4 審査評

- ・ 最優秀賞の作品は、子育て中は、なかなか思いどおりにできず、あせってしまう、急いでしまうといった子育ての現状に対し、先輩として「あわてず急がずゆっくりと」子育てしたらいいのだよということを教えてくれる、ほっとできる標語。
- ・ 優秀賞1点目の「さりげなく声かけ・・・」は、肩肘張らず、ほど良い決まりを持ってやっていくというのが良い。優秀賞2点目の「行ってらっしゃい、おかえりなさい・・・」は、そんな声をかけてもらう幸せが感じられて良い。
- ・ 優秀賞の作品は、地域での子育て応援の基本となる標語。身近なところで殺人事件が起き、親同士も交わることがへたになり、そばにいる人と会話することが難しくなっている。こうした中で、地域の見守り活動が大変重要な役割を果たしており、「さりげなく声かけ」「行ってらっしゃい、おかえりなさい」と声をかけあうことの大切さを感じる。
- ・ 入賞作品は、今の子育ての裏返しの表現。子育ての経験者が世に贈る子育て支援・応援で説得力がある作品。子育てに卒業はないということを感じさせてくれる。

5 審査委員

田中亨胤（兵庫教育大学大学院教授）、清水美知子（関西国際大学人間学部教授）
安森章（神戸新聞北播総局長）、渡辺良比呂（兵庫県川柳協会理事）、吉井満寿美
（三木市立児童センター両親教育インストラクター）、中島英三（北播磨県民局長）

6 表彰式

「こころ豊かな美しい北播磨をめざす実践推進大会」

（日 時）11月10日（土）13：30～14：30

（場 所）加西市健康福祉会館ラヴィかさい

（内 容）さわやかステージ・鼓隊演奏（北条保育園）、表彰（子育て応援標語入賞者、兵庫県自治賞、こうのとりの賞、くすのき賞）講演、実践活動団体発表

7 今後の標語の活用方法

- ・ 子育て普及啓発ポスターを作成し、管内市町主要施設、まちの子育てひろば、保育所、幼稚園などに配布。
- ・ 北播磨県民局ホームページ「北播磨いきいき子育て情報」、「北はりま子育てスタートブック」（更新増刷時）、その他北播磨の冊子、チラシ等に標語を掲載し、広く子育て応援の普及啓発に活用。

8 問い合わせ先 兵庫県北播磨県民局県民生活部地域協働課 電話（0795）42 - 9516(直通)